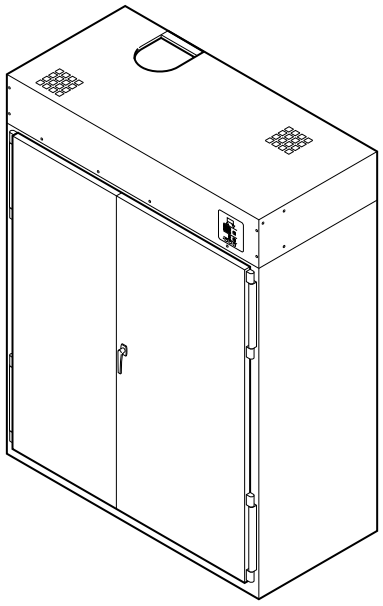
ギアキャビネット

起動シリアル番号 1103000001

5 ページを参照して、モデルを確認します

設置/操作



GER1C_SVG

元の説明

これらの説明はこれからの参照用として保管しておいてください。

(本機器の所有者が変わる場合は、本マニュアルも機器に付属してください。)

Alliance Laundry Systems

www.alliancelaundry.com

部品番号 FR004028JAR4
2 月 2012

まえがき

警告

安全のため、本マニュアルの情報に従い火災または爆発の危険を最小限に抑え、また物的損害、人体への危害や死亡を防ぐ必要があります。

W033

警告

- 本装置または他の機器の近くではガソリンまたはその他の可燃性気体や液体を保管または使用しないでください。
- ガスの臭いがしたら：
  - 器具に点火しないでください。
  - 電気スイッチに触れないでください。建物内で電話を使用しないでください。
  - 部屋、建物、敷地から居住者全員を避難させてください。
  - ご近所の電話から直ちにガス供給業者に連絡してください。ガス供給業者の指示に従ってください。
  - ガス供給業者に連絡がつかない場合は消防局に電話をしてください。
- 設置および修理は資格を保持している設置者、修理代行人またはガス供給業者により実施される必要があります。

W052

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

目次

はじめに..... 5
- モデル識別..... 5
- カスタマーサービス..... 5
- シリアルプレートの位置..... 5
- 配線図..... 5

安全情報..... 6
- 安全についてのメッセージの説明..... 6
- 重要な安全性に関する取扱い説明書..... 6

設置..... 8
- 仕様および寸法..... 8
- キャビネット寸法と排水管接続の位置..... 8
- 排気口と電気接続の位置..... 9
- 事前設置の検査..... 9
- 位置要件..... 10
- ギアキャビネット筐体..... 10
- ギアキャビネットの配置と水平化..... 11
- ギアラックオプション..... 11
- ハンガー位置..... 12
- ブーツラック..... 12
- 排出要件..... 12
  - レイアウト..... 12
  - 空気の取り込み..... 12
  - 通気口..... 13
- 電力要件..... 13
  - アースについて..... 13

操作..... 16
- DMP OPL モデル..... 16
  - 全般の操作..... 16
  - 初期設定プログラム..... 16
- OPL 制御盤について..... 16
- DMP OPL 機能..... 17

サービス（供給）からギアキャビネットを取り外す..... 19

サービス（供給）を依頼する前に..... 20

© Copyright 2014, Alliance Laundry Systems LLC
無断転載を禁ず。本書は、発行者の事前の文書による同意なく、いかなる部分も複製してはなりません。またどのような手段または形式にも変換してはなりません。

はじめに

モデル識別

本マニュアル内の情報はこれらのモデルに適用できます。

CTGC6EDG44	ITGC6EDG44	UTGC6EDG44
CTGC6EDG45	ITGC6EDG45	UTGC6EDG45
CTGC6EDG64	ITGC6EDG64	UTGC6EDG64
CTGC6EDG65	ITGC6EDG65	UTGC6EDG65
CUGC6EDG75	IUGC6EDG75	UUGC6EDG75

カスタマーサービス

資料または交換部品が必要な場合は、本機を購入した店舗またはアライアンス・ランドリー・システム社 (920) 748-3950 に連絡し、最寄りの認定部品販売店の名称と住所についてお問い合わせください。

技術援助を求める場合は、(920) 748-3121 に連絡してください。

シリアルプレートの位置

ご購入の製品に関する情報を電話または書面で要求する場合、モデルとシリアル番号を記載してください。モデルとシリアル番号は本機右側のシリアルプレートにあります。

配線図

配線図はジャンクションまたはコントラクタボックスにあります。

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

安全情報

安全についてのメッセージの説明

本マニュアルおよび装置のステッカーには、特定の説明に続き注意事項 (「危険」、「警告」、「注意」) が表示されています。これらの注意は操作者個人、ユーザー、修理担当員、本機をメンテナンスする者の安全を意図しています。

危険

とても危険な状況であり、場合によっては、怪我や死につながることになるかもしれません。

警告

回避されなくては、深刻なけがまたは死亡につながる場合がある危険な状況を示します。

注意

回避されなくては、軽いまたは中程度のケガ、あるいは施設の損傷につながる場合がある危険な状況を示します。

特定の説明に続き追加の注意勧告 (“重要” および “注”) が表示されます。

重要:「重要」は、手順が順守されなかった場合には、装置への軽度の損傷がおよぶ可能性のある特定の「手順」を知らせるものです。

注意:「注」は重要であるが、危険ではない設置、操作、メンテナンス、または修理情報のコミュニケーションに使用されます。

重要な安全性に関する取扱い説明書

次の取扱説明書を保管しておく

警告

ギアキャビネットを使用する際の火災、感電、重傷、または死の危険を減らすため、以下の基本注意事項に従ってください。

W775

- ギアキャビネット使用前に説明書のすべての指示をお読みください。
- ギアキャビネットの適切な接地については接地説明書を参照してください。
- ガソリン、ドライクリーニング溶剤や他の可燃性物質または爆発性物質で汚れを落とした、洗浄した、浸漬したあるいはシミ抜きしたことのある洗濯物は、点火または爆発する可能性のある蒸気を発するため乾燥させないでください。
- 子どもをギアキャビネットの上に載せたり中に入れたりしないでください。この器具は、監督なしに幼い子どもや体の弱い方が使用することを想定していません。幼い子どもがこの器具で遊ばないよう必ず監視してください。
- サービス (供給) からギアキャビネットを取り外すまたは破棄する前に、乾燥室のドアを取り外します。
- 水もしくは風雨、またはその両方にさらされる場所にギアキャビネットを設置または保管しないでください。
- 制御部を改ざんしないでください。
- ユーザ保守説明書あるいはユーザ修理説明書を理解し実行する能力を持ち、これらの説明書で特に推奨されない限り、ギアキャビネットの任意の部分を修理· 交換または点検しないでください。
- 柔軟剤やその他の静電気防止のための製品製造元の推奨がない限り、柔軟剤や静電気防止剤は使用しないでください。
- 排気口周辺や隣接する領域に糸くず、埃、汚れが蓄積しないようにしてください。
- ギアキャビネットおよび排気管の内部は、資格を持った担当者が定期的に洗浄してください。
- 植物油や料理油は洗浄中に除去されない可能性があるため、これらの油で汚れた物をギアキャビネットに入れないでください。残った油が原因で布地自体が燃える可能性があります。
- 火災の危険を減らすため、機械油、可燃性化学薬品、シンナー等の可燃性物質の跡がある衣服、あるいはワックスや化学薬品を含む物をギアキャビネットに入れないでください。
- ギアキャビネットは水洗いした布類を乾燥する目的にのみ使用してください。
- 必ず点検前にギアキャビネットの電源を切ります。電源を切るには適切なブレーカーまたはヒューズを遮断します。
- これらの接地説明書に従ってギアキャビネットを設置します。電力および接地へのすべての接続は、地方法規を遵守し、かつ必要に応じて資格を有する担当者が実施します。
- 洗濯物と洗浄補助品の梱包に関する製造業者の指示を必ず読み、従ってください。すべての警告または注意事項に留意してください。中毒または化学火傷の危険を減らすため、必ず子どもの手の届かないところに置いて

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

ください（施錠された戸棚（キャビネット）が好ましい）。
- 乾燥可能の表示がない限り、ガラス繊維のカーテン類や厚手のカーテン類を乾燥させないでください。乾燥させた場合は、湿った布でキャビネットを拭き、ガラス繊維粒子を除去してください。
- 衣料品製造元による「お手入れ」の指示に、必ず従ってください。
- ガードやパネルを取り外した状態でギアキャビネットを操作しないでください。
- 煙が出ている、摩擦音がする、または部品が欠損しているか破損している場合は、ギアキャビネットを操作しないでください。
- 任意の安全装置を迂回しないでください。
- ドライクリーニング機から出る溶剤蒸気は、乾燥装置のヒーターを通して吸引されると酸を生成します。これらの酸によりギアキャビネットが腐食します。補給空気に溶剤蒸気がないことを確認してください。
- この機械を製造業者の説明書に従って設置、維持、および/または操作しない場合、肉体的損傷および/または物的損害につながる可能性があります。

警告

重傷の危険を減らすため、施錠可能なドアを取り付けて、ギアキャビネット背面に一般アクセスできないようにします。

W682

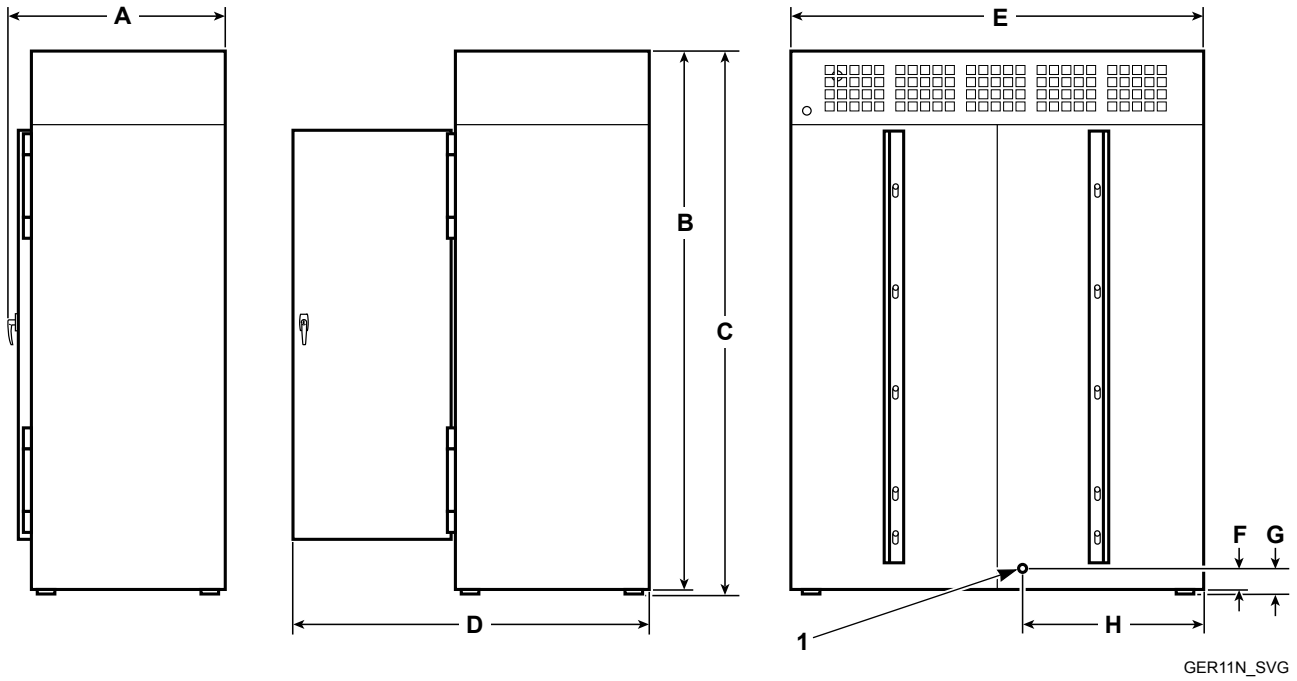
© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

設置

仕様および寸法

仕様	
正味重量 (概算):kg [ポンド]	242 [534]
国内積荷重量: kg [ポンド]	274 [605]
排気口直径 mm [インチ]	152 [6]
最大静的背圧： mbar [W.C.I.]	0.5 [0.2]
最大エアフロー： m^3/h [C.F.M.]	510 [300]
発熱体：キロワット(kW)	12

キャビネット寸法と排水管接続の位置



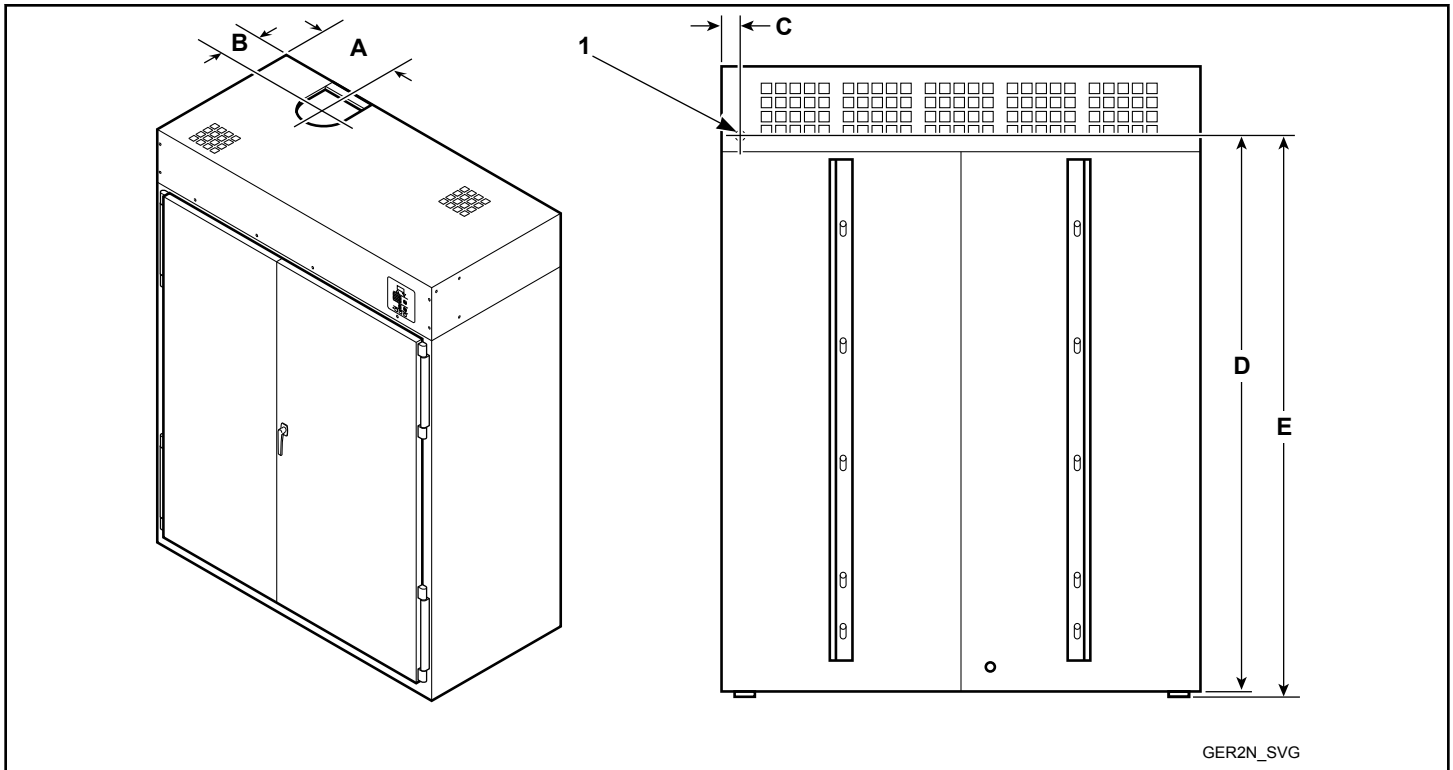
1. 排水管, 1/2 NPT

A	B	C	D	E	F	G	H

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

828 mm [32.6 インチ]	2018 mm [79.44 インチ]	2041 mm [80.37 インチ]	1521 mm [59.89 インチ]	1553 mm [61.13 インチ]	36 mm [1.42 インチ]	60 mm [2.36 インチ]	776 mm [30.56 インチ]
注意: これらの図は、おおよそのサイズのみです。							

排気口と電気接続の位置



1. 電気接続

A	B	C	D	E
458 mm [18.02 インチ]	144 mm [5.66 インチ]	68 mm [2.67 インチ]	1794 mm [70.64 インチ]	1818 mm [71.58 インチ]
注意: これらの図は、おおよそのサイズのみです。				

事前設置の検査

1. 出荷時は、木枠 (木箱)、ボール紙 (段ボール箱)、部品に積荷時の目に見える損傷がないか目視点検してください。
2. 木枠 (木箱)、ボール紙 (段ボール箱)、またはカバーが損傷している場合、あるいは損傷の可能性のある跡がはっきり残っている場合は、積荷受取証に署名する前に運送業者に船積書類への状態の記載を依頼するか、損傷発見時に直ちに運送業者に状態を報告してください。
3. 早急に木枠 (木箱) と保護カバーを取り外し、梱包リストに記載されている物品を点検します。
4. 運送業者に損傷しているまたは欠損している物品を早急に報告してください。損傷しているまたは欠損している物品がある場合は、運送業者に直ちに請求書を提出してください。

重要: 本説明書の指示に従ってギアキャビネットを設置しない場合、保証は無効となります。本説明書に記載の最低限の仕様と要件、地方の建設基準法、給水規則、電気配線規則、および他の関連法規を遵守してください。要件が多岐にわたるため、適用可能な地方法規を完全に理解し、それに従ってすべての設置前の作業を準備してください。

必要な資材 (現地調達)

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

- 1 相モデルにおける 2 極ヒューズ付断路器または回路遮断器 1 個
- 3 相モデルにおける 3 極ヒューズ付断路器または回路遮断器 1 個
- 12.77 mm [0.5 インチ] の PVC 排水管に接続する金属製品。
- 152 mm [6 インチ] の排気管。

重要: ギアキャビネットの領域は清潔にし、可燃性物質、ガソリン、および他の可燃性蒸気や液体が無い状態にしてください。

位置要件

ギアキャビネットは水平な床に配置する必要があります。敷物類やタイルなどの床敷材は取り外してください。

確実に法を遵守するために、地方の建設基準法の要件を参考にします。水もしくは風雨、またはその両方にさらされた場所にギアキャビネットを設置または保管しないでください。

重要: 洗濯物や他の物でギアキャビネット後部および上部の気流を遮らないでください。ギアキャビネットに適切な量の空気が供給されなくなります。

代表的なギアキャビネット筐体を *図 1* に示します。最小寸法と最大寸法に注意してください。地方法規および法令を遵守してください。

重要: 点検および操作スペースを十分空けてからギアキャビネットを配置します。 *図 1* を参照してください。

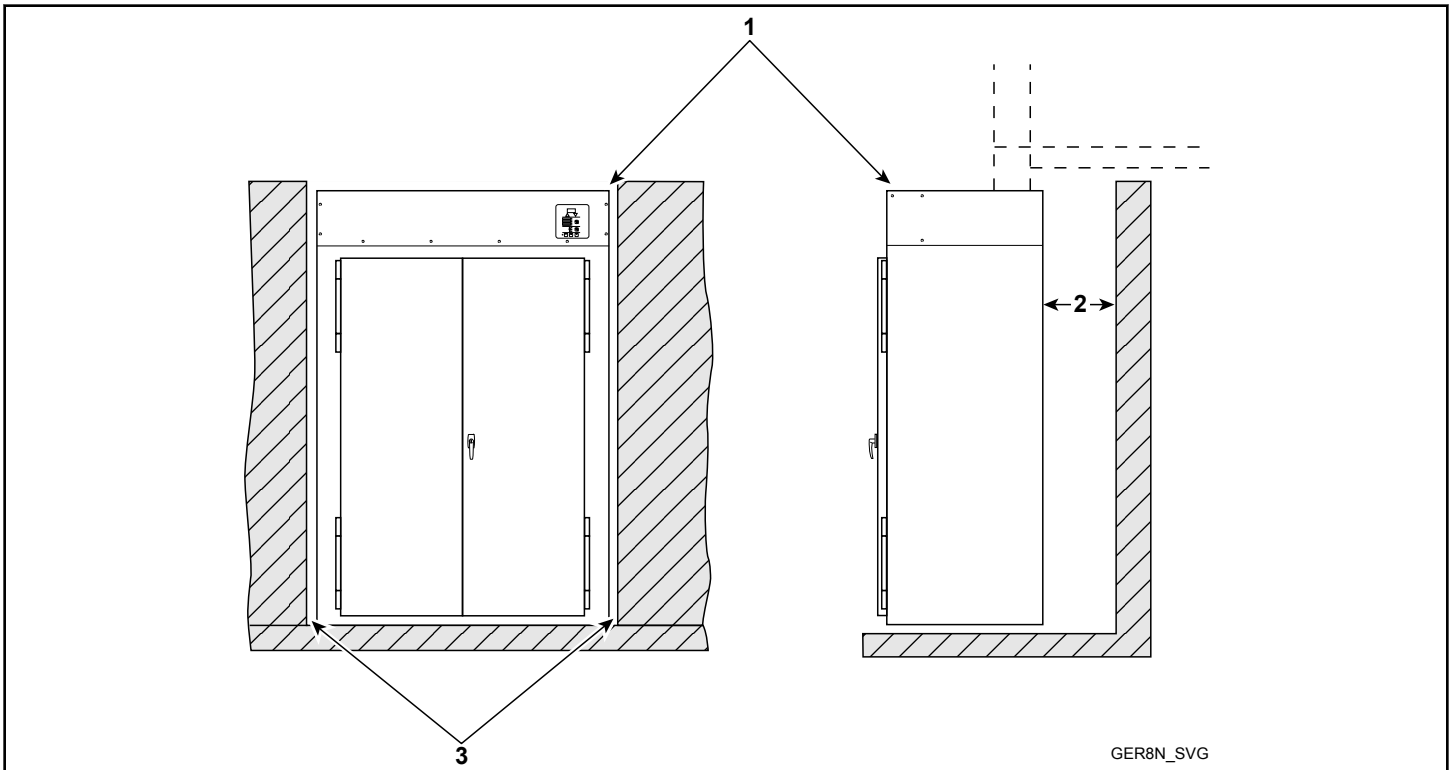
注意: ドアを開いてから制御アクセスパネルを取り外します。

ギアキャビネット筐体

警告

重傷の危険を減らすため、可燃構造とギアキャビネットの隙間については、最小隙間を遵守してください。

W705



注意: 斜線部分は隣接した構造を示しています。

1. 撤去または設置に役立つ、本機上部の最小 152 mm [6 インチ] の開口部
2. 最高の性能を発揮するには、最小 76 mm [3 インチ] 、 914 mm [36 インチ] を推奨します。
3. 撤去または設置のためには 6 mm [0.25 インチ] を推奨します。隙間ゼロ可。

図 1

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

ギアキャビネットの配置と水平化

警告

どの方向であっても機械を 15 度以上傾けないでください。機械は上部が重く、転倒すると傷害または (および) 機械の損傷が発生する場合があります。

W785

1. 4 本の出荷用ボルトを外します (各コーナーに 1 本ずつ)。
2. ギアキャビネットを滑り止め (車輪止め) から外します。

   注意: ボルトは捨てないでください – 水平調節脚になります。
3. 4 つのレベリング脚 (ボルト) を回して、下の方から金具を水平に戻してください。
4. ギアキャビネットを常置場所にスライドさせます。
5. 装置が水平になるか、前方の高さがわずか 3.18 mm [0.125 インチ]になるまで水平調整脚を調節します。 *図 2* を参照してください。ギアキャビネットを振動させないこと。

   重要: 床にできるだけ近い位置にギアキャビネットを置きます。ギアキャビネットの重量が均一に分布するように装置を床に固定する必要があります。

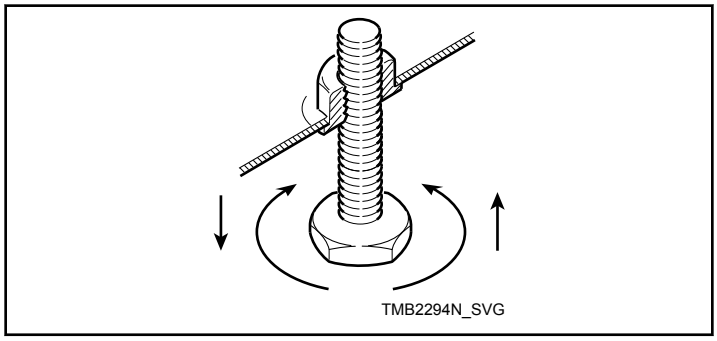
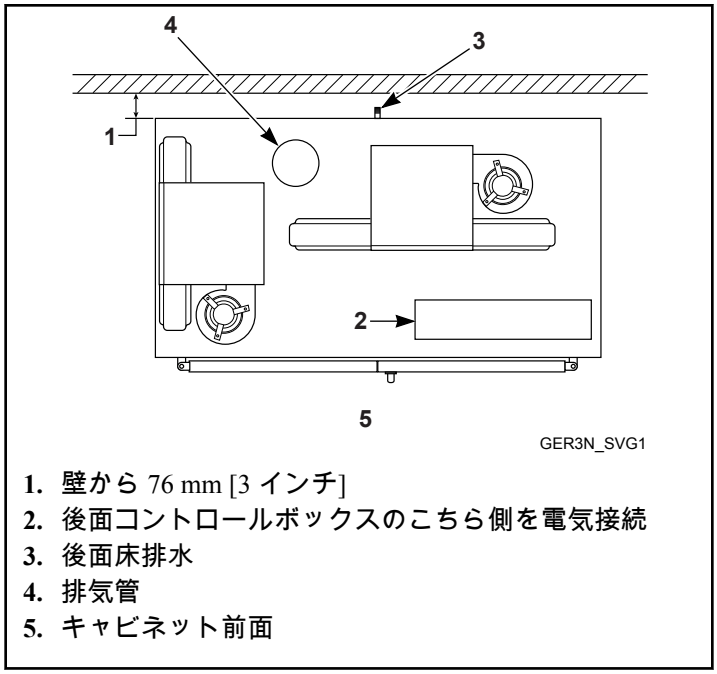


図 2

6. 背面パネルは本機の壁から最小 76 mm [3 インチ] 離すこと。 *図 3* を参照してください。



1. 壁から 76 mm [3 インチ]
2. 後面コントロールボックスのこちら側を電気接続
3. 後面床排水
4. 排気管
5. キャビネット前面

図 3

ギアラックオプション

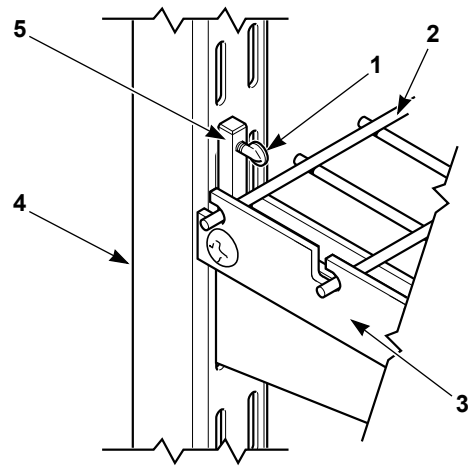
重要: ギアは、1 ラック当たり 45.3 kg [100 ポンド] を超えてはいけません。

本手順書はギアラックオプション用にブラケットをギアキャビネットに添付しています。 *図 4* を参照してください。

1. 右ブラケットから左ブラケットを判定し、スロットをキャビネット中央に向けること。ブラケット内のスロットは上向きとし、続いてブラケットをチャンネル内に挿入します。左右のブラケットは同じ高さでチャンネル内に配置します。
2. ブラケット組上部のキャビネットの背面および中央にシェルフを配置します。シェルフがブラケットのスロットに滑り落ちてそれ以上動かなくなるまでシェルフをキャビネット前方へゆっくりと引っ張ります。

   注意: 2 個以上のシェルフを設置する場合は、まずは下段のシェルフを、次に上段のシェルフを設置します。
3. 止めピンの位置を決め、止めねじの穴位置をマーキングし、#10-32 穴をあけてタップを立てます。
4. 止めピンを取り除き、タップを立てたネジ穴につまみネジを入れます。つまみネジの端を上向きにし、チャネル面を背にしてシェルフとシェルフブラケット内部の間に止めピンを入れます。
5. ピンがシェルフをシェルフブラケットにしっかりと保持するまで、チャネル面に向かってつまみネジを締めます。
6. シェルフを追加する場合は手順 1~5 を繰り返します。

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT



注意: ラックホルダーはキャビネット中央に向くようにします。

1. つまみネジ
2. シェルフ
3. ブラケット
4. チャネル
5. 止めピン

図 4

ハンガー位置

気流を最大化するため、ハンガーまたは装填板 (部品番号 FR223)で各ハンガー開口部をふさぐ必要があります。使用していないハンガーがある場合は、装填板を挿入して開口部をふさぎます。 *図 5* を参照してください。

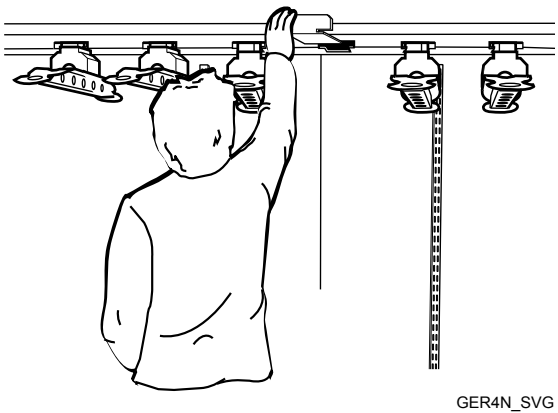


図 5

ブーツラック

つま先側を上にしてブーツをラック上に置き、つま先部分に水が入らないようにします。 *図 6* を参照してください。

注意: ブーツが汚れている場合は、洗い流してからラック上に置きます。

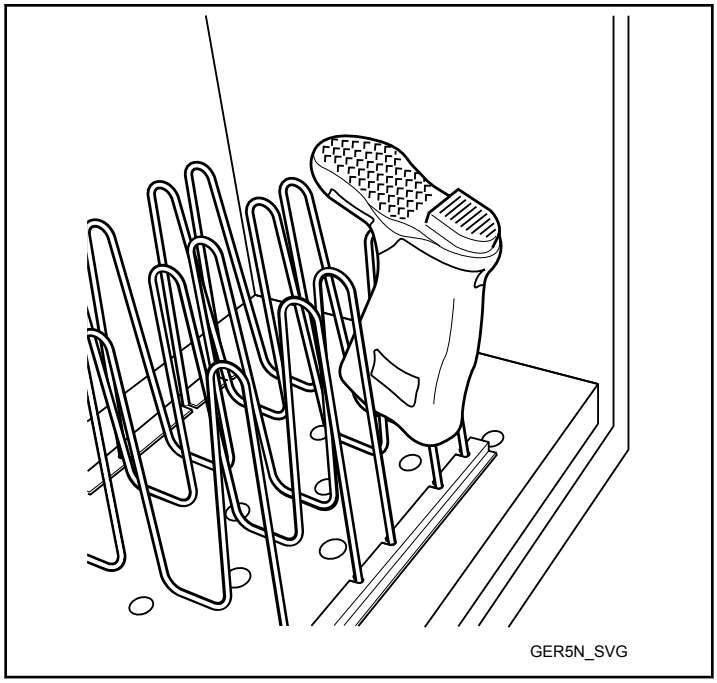


図 6

排出要件

レイアウト

できる限り、排気管長さを最小に保つことができるように、また補給空気を容易に取り込めるように、外壁に沿ってギアキャビネットを設置します。ギアキャビネットの背面で気流をブロックしないように組み立てます。気流をブロックするとギアキャビネット発熱体に適切な量の空気が供給されなくなります。

空気の取り込み

ギアキャビネットは強制的に空気が排出され、ギアキャビネットから排出される空気を交換するために補給空気の取り込みが必要です。

重要: 換気空気の気流を妨げないでください。

各ギアキャビネットに必要な (外側に出る) 補給空気開口部は次の通りです。

387 cm^2 [60 インチ ^{2}]

ルーバーが付いた空気取り込み口で、エアフローを制限します。ルーバーで取り込む工エリアを補うので開口部を大きくしてください。

ギアキャビネットもしくはガス焚き温水ヒーター、またはその両方、あるいは他の自然換気装置のある部屋の補給空気開口部は、すべてのギアキャビネットが稼働している時にいずれかの通気口内の下向き通風を防ぐため十分に増設する必要があります。ギアキャビネットと補給空気開口部の間に自然換気装置を配置しないでください。ギアキャビ

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

ネットに補給空気を導管で送る必要がある場合は、配管領域を 25%拡張して空気の移動制限を補うこと。

通気口

警告

静圧の増加による火災のリスクを減らすため、二次的なインラインリントフィルタまたはリントコレクタの設置を推奨しません。二次的なシステムが必須の場合は、システムを頻繁に清掃して安全な操作を保証します。

W749

重要: インラインフィルタまたは糸くず捕集具を取り付けると静圧が上昇します。第 2 糸くずシステムの保守を怠ると、ギアキャビネットの効率性が低下し、機械の保証が無効となる場合があります。

効率性を最大化するには、ギアキャビネットの空気を可能な限り短い経路で屋外に排出する必要があります。

配管は 4.3 m [14 ft] および 90°の曲がり管 2 本を超えてはなりません。適切に作動させるには適切な大きさの排気管が必要です。曲がり管はすべてスイープ型であること。排気管は内部表面が平滑になるように組み立てる必要があります。プラスチック、薄箔管または B タイプのフレキシブルダクトを使用しないこと–剛性金属ダクトを推奨します。板金または他の不燃性物質で作られた排気管を使用します。排気管内に延び糸くずを捕集する排気管接合部にタッピンねじまたはファスナーを使用しないでください。地方法規で許可されている場合、すべての継ぎ目と接合部にダクトテープまたはポップリベットを使用することを推奨します。

古い排気管が完全に洗浄されていることを確認してから、新しいギアキャビネットを設置します。

警告

大きさが不適切であるか正しく組み立てられていない配管は、過剰な背圧の原因となり、結果として乾燥に時間がかかり火災の危険が増します。

W778

注意: 排気管は板金または他の不燃性物質で構成されている必要があります。このような排気管は、 0.495 mm [0.0195 インチ] 以上の厚さの溶融亜鉛めっき鋼板から成る排気管と同等の強度と耐食性を有する必要があります。

排気管が不燃性の壁または天井を貫通する場合は、地方法規に従って開口部を形成する必要があります。排気管周辺のスペースは、不燃性物質で塞ぐことができます。

注意: 最高の性能を発揮するため、各ギアキャビネットに各排気管を取り付けます。ギアキャビネットのある部屋に温水ヒーターを設置しないでください。温水ヒーターは別の給気口のある別の部屋に備える方が望ましい。

電力要件

警告

感電、火災、爆発、重傷、または死の危険を減らすため、

- **サービス (供給) 前にギアキャビネットへの電力を遮断します。**
- **ガードやパネルを取り外した状態でギアキャビネットを始動させないでください。**
- **サービス (供給) 中に接地線が外れたときは、必ず再接続して、確実にギアキャビネットを正しく接地してください。**

W683

警告

火災の危険や電気ショックを下げるために、資格を保持している修理工に接地手順について確認します。機器の接地導体の不適切な接続は、電気ショックのリスクをもたらす場合があります。

W068R1

警告

火災や感電の危険性を減らすため、電源供給が 3 相の場合、「ハイレグ」または「スティンガーレグ」を単相の機械に接続しないでください。3 相の機械に「ハイレグ」または「スティンガーレグ」がある場合、3L に接続してください。

W069

アースについて

注意: ギアキャビネットを確実に衝撃から保護するためには、地方法規に従ってギアキャビネットを電気的に接地する必要があります。地方法規が存在しない場合は、最新の米国電気工事規程 ANSI/NFPA No. 70 を遵守する必要があります。カナダでは、最新のカナダ電気工事規程 CSA C22.1、または地方法規に従って電気接続を行います。電気工事は資格を持った電気技術者が実施してください。

ギアキャビネットは接地する必要があります。誤動作または故障の際は、最小電流抵抗の経路を設け、接地によって電気ショックのリスクを低減します。このギアキャビネッ

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

トは接地用金属の永久配線システムに接続する必要があります。または機器設置導体を回路導体と共に実行し、適切な設置位置に接続する必要があります。

- 金属製導管および/または BX ケーブルはアースとしては使用できません。
- 給電ボックスからギアキャビネット研磨ねじに中性端子を接続しても、接地は形成されません。
- 専用接地導管 (線) は、給電ボックス接地棒とギアキャビネット研磨ねじの間に接続してください。

注意

制御の修理をする際は、切断する前にすべての配線にラベルしてください。配線工ラーは不適切で危険な操作を引き起こす場合があります。修理後に適切な操作を確認します。

W071

警告

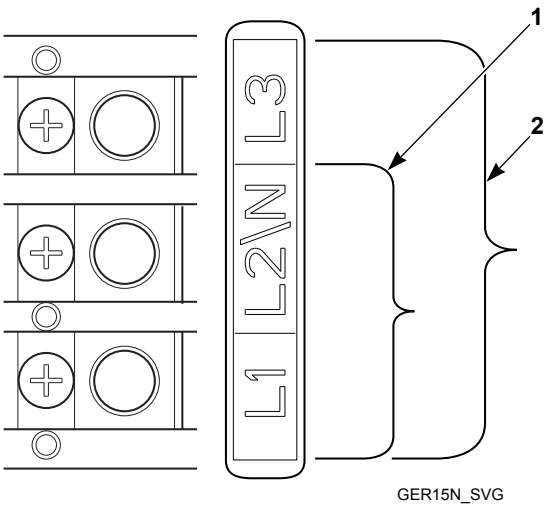
感電の危険を減らすため、いずれの電気的接続を行う前にもギアキャビネットに接続されている電気回路を切ります。全ての電気的接続は、資格ある電気技術者が実施しなければなりません。電気が流れている回路を接続しないでください。

W684

モデル	シリアルプレート電圧	電流 (アンペア)	推奨遮断器定格 (アンペア)
*TGC6EDG44	208 ボルト/50 または 60 ヘルツ/1 相	45	60A
*TGC6EDG45	208 ボルト/50 または 60 ヘルツ/3 相	25	35A
*TGC6EDG64	240 ボルト/50 または 60 ヘルツ/1 相	52	70A
*TGC6EDG65	240 ボルト/50 または 60 ヘルツ/3 相	30	40A
*UGC6EDG75	380-415 ボルト/50 ヘルツ/3 相	18	25A
* 完全なモデル番号にするには C、I、U のいずれかを追加します。			

表 1

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT



1. すべての 1 相接続
2. すべての 3 相接続

図 7

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

操作

DMP OPL モデル

全般の操作

診断マイクロプロセッサ制御 (DMP) は、ギアキャビネットの乾燥サイクルと冷却サイクルを管理するために設計されています。後述のとおり、この制御装置はまた、5 つの異なるデフォルトプログラムと共に工場からプログラムされています。操作者は、乾燥・冷却サイクルにかかる時間と乾燥温度を自由に選択でき、また、デフォルトプログラムを再プログラムできます。 *DMP OPL 機能*を参照してください。

初期設定プログラム

プログラム	乾燥時間	冷却時間	時間 セットポイント
1	90 分	2 分	41°C [105°F]
2	120 分	2 分	41°C [105°F]
3	150 分	2 分	41°C [105°F]
4	180 分	2 分	41°C [105°F]
5	20 分	2 分	41°C [105°F]

表 2

注意: 変更されたプログラムが破損していると判断された場合、デフォルトのプログラム設定が使用されます。

最小乾燥時間は 0 分間、最小冷却時間は 2 分間です。最大乾燥時間は 555 分間、最大冷却時間は 60 分間です。乾燥温度は 38°C [100°F] ~ 66°C [150°F]の間で設定可能です。乾燥時間、冷却時間または温度は運転サイクル中に変更可能です。

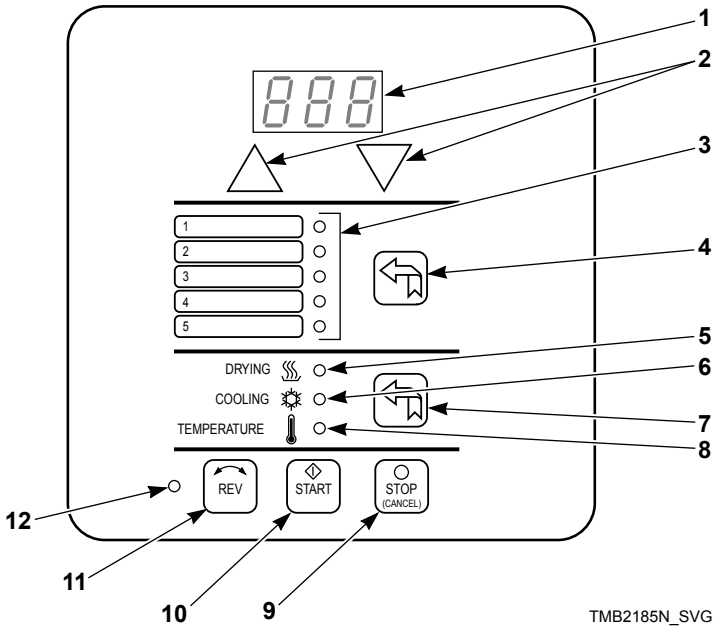
現在のサイクルに関して乾燥時間と冷却時間をリセットする必要がある場合は、停止ボタンを 2 回押すとギアキャビネットが停止します。

注意: サイクルを休止するには、停止ボタンを 1 回押します。サイクルをキャンセルするには、停止ボタンを 2 回押します。サイクルを休止またはキャンセルした場合、ファンは 2 分間運転を継続します。

OPL 制御盤について

図 8 を参照。

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT



1. 表示。乾燥時間、冷却時間、乾燥温度、診断を表示します。
2. 表示。上下矢印キーを表示します。表示中の値を増減させます。表示ボタンと連動して、これらのボタンは乾燥時間、冷却時間、温度の調整に使用します。
3. ユーザプログラム LED は現在表示されているユーザプログラムを点灯します。
4. プログラム選択。このボタンはプログラム可能な 5 つのプログラムを切り替えます。
5. 乾燥時 LED は乾燥サイクル時点灯します。
6. 冷却時 LED はディスプレイが冷却時間表示または冷却サイクル時に点灯します･ 。
7. ディスプレイ選択 は乾燥時間と冷却時間の間のディスプレイと温度設定を変更。ディスプレイボタンを 3 秒間 長押しすると、乾燥サイクル時間を表示します。
8. 温度 LED はディスプレイが温度設定時に点灯します。
9. 停止。現在のサイクルを休止またはキャンセルします。
10. [スタート (START)] で現在のプログラムまたはサイクルを開始します。
11. 逆回転/非逆回転 (REV)。この用途には使用しません。
12. 逆回転 LED。逆回転を押すと点灯しますが、操作には影響ありません。

図 8

DMP OPL 機能

DIP スイッチ設定

DMP は、制御盤の背面からアクセス可能な 8 ポジション DIP スイッチバンクを備えています。これらの DIP スイッチを切り替えることにより、操作者はディスプレイとギアキャビネットの操作機能の一部をカスタマイズできます。

スイッチ	機能	工場出荷時設定
1	ギアキャビネット	OFF (オフ)
2	温度装置(OFF = °F, ON = °C)	OFF (オフ)
3	使用されていません	OFF (オフ)
4	使用されていません	OFF (オフ)
5	使用されていません	OFF (オフ)
6	ブザー時間	OFF (オフ)
7	使用されていません	OFF (オフ)

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

8	プログラミング (OFF = 無効、ON = 有効)	OFF (オフ)

表 3

プログラミング

1. DIP スイッチ#8 を“ON”の位置に設定します。
2. 変更したいプログラム番号を選択します。
3. 乾燥時間を選択します。上下矢印キーで時間を設定します。LED が点滅し、サイクルが変更されたことを示します。
4. 冷却時間を選択します。上下矢印キーで時間を設定します。LED が点滅し、サイクルが変更されたことを示します。
5. 温度を選択します。上下矢印キーで温度を設定します。LED が点滅し、サイクルが変更されたことを示します。
6. プログラム選択ボタンを約 3 秒間、LED が点滅しなくなるまで長押しします。これで選択したプログラム番号が設定されます。プログラムボタンの押下時間が 3 秒未満の場合、制御装置はプログラムをキャンセルし、次のプログラム設定を表示します。正しくプログラムされていない場合は、“E2F”が 4 秒間点滅し、デフォルト設定が使用されます。手順 1 ~ 6 に従って任意のプログラムを再プログラムします。完了したら DIP スイッチ#8 をオフにします。

重要: 10 秒以内にボタンを押さない場合、プログラムは前回値に戻ります。

現在のプログラムの一時的な再プログラミング

1. 現在使用中のプログラムにおける乾燥時間、冷却時間、温度モードは、必要に応じて、当該プログラムの任意もしくはすべてのプログラムパラメータを調節するだけで変更できます。一度変更されると、現在のプログラムの LED が点滅して変更されたことを示します。
2. 上/下 (Up/Down) 矢印でプログラム時間調整
3. ディスプレイ選択ボタンで、乾燥時間、冷却時間、温度を選択できます。また上/下 (Up/Down) 矢印で時間と温度を変更できます。
4. この一時的なプログラミングモードをキャンセルするには、停止ボタンを押して現在のサイクルを停止し、もう一度停止ボタンを押して変更されたプログラム設定をキャンセルします。プログラムは元の設定に戻ります。

ボード診断動作確認

“P-F” はサーミスタがショートかオープンであることを示します。

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

サービス(供給)からギアキャビネットを取り外す

サービス (供給) からギアキャビネットを取り外す場合、
該当するときは以下の手順を実施します。

- 本体外部の電源供給元をオフにします。
- 本体の電源を切断しオフにします。
- 電気接続をすべて外します。

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT

サービス (供給) を依頼する前に

スタートしない	ヒーティングができない	衣類の乾燥ができない	可能性 – 接続設定
•			「ここを押してスタート」または「スタート」のパッド / ボタンを押します。
•			電源コードが正しく電源プラグと接続されていることを確認してください。
•			乾燥タイマーが「OFF」になっていることを確かめてください。
•			主ヒューズと回路ブレーカを確認してください。
•			本体に設置されているヒューズを確認してください。
	•		制御関連機器が適切にセットされていますか?
	•	•	外部の排気ダクトが詰まっている。ダクトのつまりを除いてください。

© Copyright, Alliance Laundry Systems LLC - DO NOT COPY or TRANSMIT